

たが

こんにちは 議会です!!



社会科の学習のために議場を訪れた多賀小3年生

- ・ 6月定例会 2P
- ・ 各常任委員会報告 4P
- ・ 一般質問 5議員が問う 6P
- ・ がんばってます 10P

第110号

平成18年8月1日発行
発行責任者 議長 安藤 直毅
編集 集 広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎ 0749(48)8126
FAX 0749(48)0157
有線 2-2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>
E-mail gikai@tagatown.jp



小林 滋弘さん 52才 多賀

熱ついんですが、頑張ってます。頭張ってべっぴんどら焼きを焼いています。敏満寺の工場でお菓子を作り、彦根いろは松前に店舗を構えて一三年。彦根店では、二一世紀の菓子屋を目指し喫茶スペースを設けて、コーヒー、抹茶、かき氷、ゼンざい等を出しています。地元や観光客の皆様には喜んでいただいています。親の仕事を継承するのは非常に難しい時代です。しかし、菓子屋であり続ける事が、今まで菓子屋として育てて下さった多賀の皆様への恩返しと想っています。

店の名前を「和菓子処 さわ泉」と改め、四代目として誇りを持って美味しさにこだわって日々精進しています。

もちろん、慶弔用引菓子、饅頭、お赤飯も作りますし、配達もしています。暑さに負けずがんばります。

がんばってます!



田辺 とし江さん 82才 小原

おかげさんで、新聞配達させてもらってかれこれ四〇年になります。毎朝、大滝さん、尊雄神社さん、お多賀さんと家の佛さんにお詣りしてから、朝五時から配達させてもらってます。

毎日元気に配達させてもらえるのも、神さんや佛さんを拝んでいるおかげやと思ってるの。小原地区の十八軒に配るだけやけど、一時間ぐらいいはかかるんよ。夏はましやけど冬は寒いし、道が凍っていたりして大変やけど、お勤めの方が、出勤するまでに読んでもらおうと思ってるのよ。

もちろん月末の集金もしてるで。

田んぼの世話も、自転車に乗って行ってるの。ほんまに元気で働かしてもらうてありがたいことです。

編集後記

五月中旬、悲願の道路改修が完成した川相・小原間で、地域の皆さんの協力のもと、道路沿いにコスモスの苗が植えられました。この広報誌が出る頃には、きっときれいな花を咲かせ、通行の皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。

町内各地でも、花いっぱい運動が展開されています。これらの活動が、これから線となり大きな面となるような広がりになればと期待しています。

久保久良記

就学前乳幼児の 通院・入院の医療費完全無料化 10月1日より実施へ

6月定例会

14日～22日

六月定例会は、六月一四日から二二日までの日程で開かれた。

同意三件、承認九件、報告六件、条例改正七件、条例制定一件、規約の変更四件、平成一八年度特別会計予算一件、平成十八年度一般会計ならびに特別会計補正予算五件、その他四件が原案どおり承認、可決された。

請願四件の審議を行った結果、不採択と決した。

同意

◎多賀町多賀財産区管理
会委員

多賀

川添 利雄氏
七二歳

久徳

森口 政二氏
六二歳

◎多賀町固定資産評価審
査委員会委員

中川原

野村 清嗣氏
七一歳

◎多賀町霊仙財産区管理
会委員

霊仙

小倉 富造氏
七一歳

霊仙

宮下 重和氏
五六歳

霊仙

藤井 武司氏
七五歳

霊仙

藤井 俊幸氏
七四歳

霊仙

庵野 久兵衛氏
九二歳

専決

条例改正

◎多賀町税条例の一部改正
地方税法の一部改正によるもの
◎多賀町固定資産税の不
均一課税に関する条例
の一部改正
不均一課税の適用対象
となる減収補てん措置の
適用期限を二年延長。

◎多賀町国民健康保険税
条例の一部改正
介護納付金課税額の課
税限度額が八万円から九
万円に引き上げ。

補正予算

◎平成一七年度一般会計
七、四四九万円を減額
内容
町民税五、四〇〇万円
増収となったが、財政調
整基金と減債基金合わせ
て一億八、三〇〇万円減
収。

◎平成一七年度国民健康
保険特別会計
一、三六四万円を減額。

◎平成一七年度老人保健
事業特別会計
九、三〇九万円を減額。

◎平成一七年度介護保険
事業特別会計
五、五三〇万円を減額。

◎平成一七年度住宅団地
造成事業特別会計
九〇〇万円を減額。

◎平成一七年度下水道事
業特別会計
一〇万円を追加。

水道事業会計
九、五六九万円を平成
一八年度へ繰越。

◎平成一七年度滋賀県市
町土地開発公社事業報
告書および財務諸表の
報告

◎平成一八年度滋賀県市
町土地開発公社事業計
画書および収入支出予
算の報告

報告

◎平成一七年度繰越明許
費繰越計算書

一般会計
大滝小屋内運動場新增
改築事業など四事業、三
億三、九〇八万円を平成
一八年度へ繰越。

下水道事業特別会計
川相地区面整備工事な
ど、九、四一〇万円を平
成一八年度へ繰越。

農業集落排水事業特別会
計
萱原地区処理施設など、
一億三、九六一万円を平
成一八年度へ繰越。

◎多賀町国民健康保険税
条例の一部改正

◎多賀町福祉医療費助成
条例の一部改正

◎多賀町非常勤の職員の
公務災害補償等に関する
条例の一部改正

◎多賀町消防団員等公務
災害補償条例の一部改
正

◎多賀町非常勤消防団員
に係る退職報償金の支
給に関する条例の一部
改正

◎多賀町特別会計条例の
一部改正

条例制定

◎多賀町霊仙財産区管理
会条例
霊仙財産区議会におい
て、霊仙財産区議会条例
を廃止し、財産区管理会
として運営する。
委員五名、任期四年。

平成一八年度予算

◎特別会計
霊仙財産区管理会

二〇万円

平成一八年度補正予算

◎一般会計

一、七九四万円を追加。

◎国民健康保険特別会計

二六八万円を追加。

◎老人保健事業特別会計

三九三万円を追加。

◎びわ湖東部中核工業団
地公共緑地維持管理特
別会計
三七四万円を追加。

◎下水道事業特別会計

一七〇万円を追加。

請負契約の変更

(仮称)多賀ささゆり保
育園分園滝の宮保育園新
築工事
二、〇八〇万円を追加し、
一億七、四一〇万円に変更。
(外溝工事の追加のため)

請負契約の締結

多賀町立大滝小学校屋内
運動場新增改築工事
契約金額
一億四、七〇〇万円

株式会社奥田工務店
契約相手

規約の変更

◎滋賀県自治会館管理組
合規約の一部変更

◎滋賀県市町村職員研修
センター規約の一部変
更

◎滋賀県市町村職員退職
手当組合規約の一部変
更

◎滋賀県市町村交通災害
共済組合規約の一部変
更

町道路線の変更

多賀大藪線の終点の変更
今回の変更により終点
が大字土田字竹ノ越四五
五―二番地となる。

町道路線の廃止

キリン土田線の廃止

請願

◎郵政民営化前は県内
五三の集配郵便局のう
ち一一、民営化後は二
〇前後の集配業務廃止
を中止し、集配業務の
存続を求める請願書

◎「最低賃金の引き上げ」
を求める請願書

◎「パートタイム労働者・
有期契約労働者の適正
な労働条件の整備及び
均等待遇実現」を求め
る請願書

◎教育基本法の「改正(案)
について慎重に審議す
るよう求める請願書



完成間近の「たきのみや保育園」

報告 各委員会

総務常任委員会

六月二〇日、町条例の一部を改正する条例と平成一八年度一般会計補正予算ならびに平成一八年度各特別会計予算を審査し、可決すべきものとした。

税条例の一部改正

第三四条二

「損害保険料控除額」に変わり「地震保険料控除額」に改正。

第三四条三

三段階の累進税率が一律の税率六％にフラット化。

第三四条六

所得税と町民税の人的控除額の差額負担増を調整控除するために減額措置を新たに創設。

第九五条

「たばこ税の税率」は、地方税法の改正による引き上げ。

福祉医療費助成条例の一部改正

乳幼児の四歳未満児から小学校未就学児まで無料化。一〇月診療分から乳幼児の医療費も町単独事業で負担を行う。

平成一八年度一般会計補正予算

豊かな体験活動推進事業委託金(多賀小) 四六万円

乳幼児福祉医療費助成制度の改正 三二八万円

高齢者居場所づくり事業実施者への補助金 一〇〇万円

平成一八年度国民健康保険特別会計補正予算

医療保険制度改正に伴う電算システム改修費と国保および老人保健の単票発行機能開発費。 二六八万円

平成一八年度老人保健事業特別会計補正予算

制度改正に伴う老人医療システム改修費など。 三九三万円

質疑応答

問 多賀小で、国が推進する豊かな体験活動推進事業委託金が二年間に限っていた。修学旅行について多賀小・大滝小の保護者負担は変わらないのか。

答 年間三五時間の体験学習に充てるもので、多少の差は生じるが、できる限り配慮をしていく。

問 福祉医療費助成制度の一部見直しで、乳幼児の



身近なスポーツクラブを目指して

閉会中の総務常任委員会報告

開催日

平成一八年六月二日

教育委員会所管

平成一八年度教育行政方針
学校(園)教育方針
社会教育方針
文化施設の充実および活動の推進方針

産業建設常任委員会

六月一六日、平成一八年度一般会計補正予算、各特別会計などを審査し、全員賛成で可決すべきものとした。

平成一八年度一般会計補正予算

農地地図情報システム 五七七万円

全額県費。耕作地移動利用など動態システムの構築のため。

小口簡易資金損失補償金 七八万円

県費三九万円と町費三九万円を充てる。十六年度貸付一件に返済不能が生じたため。

平成一八年度各特別会計補正予算

中核工業団地二号沈砂池濁水防止対策 三七四万円

閉会中の産業建設常任委員会報告

開催日

平成一八年五月一五日

建設課所管

土木事業箇所、現地踏査にて決定。予定事業費六、四五〇万円。

町道改良

敏満寺本線、他五カ所

町道舗装

小森池線、他四カ所

里道舗装

富之尾地区、他三カ所

総延長 二二〇m

集落排水

中川原地区、他二カ所

総延長 一五二m

用語解説

※1 財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するための基金。

※2 減債基金

地方債の償還を計画的に行うための基金。

請願書

各委員会に付託されたすべての請願書については賛成少数のため不採択すべきものと決した。

質疑応答

問 不審者に備えて、学校周りを施設できないか。

答 昼間は進入されないように正門を閉めている。

問 幼稚園の送迎についてはどうか。万が一、迎えに行けない時の対応は。

答 送迎は各自ですることになっていて、もし来られない時は、連絡をもらって、誰々に依頼したこととの説明を受けて確認してから帰している。

問 スポーツクラブ「多賀やまびこクラブ」については、自主運営となるのか。

答 会員となって身近なスポーツから幅広い種類のクラブを目指している。今後医療費の減少にも結び付けたい。

問 以上、基本的な方針説明があり、続いて各担当から、学校教育、社会教育、図書館、博物館の方針および事業概要について説明があった。

多賀小学校、大滝小学校・大滝幼稚園、多賀幼稚園の視察と授業参観および海洋センター、あけぼのパークの各施設を視察した。

人権教育・同和教育推進方針

平成一八年度事業概要

教育基本目標

たくましい力と心豊かで品格ある人づくり

家庭教育

家族間のむすびつきに喜びと誇りを持つ人間の育成を目指す。

学校教育

知・徳・体の調和ある発達を目指す。

社会教育

各地域の文化体育施設を活用し、活動できる機会をつくる。

以上、基本的な方針説明があり、続いて各担当から、学校教育、社会教育、図書館、博物館の方針および事業概要について説明があった。

多賀小学校、大滝小学校・大滝幼稚園、多賀幼稚園の視察と授業参観および海洋センター、あけぼのパークの各施設を視察した。



中核工業団地二号沈砂池 濁水防止



各課組織の横断的な取り組みは密接な連携を図りたい

—町長—

久保 久良 議員

町長 少子化や次世代育成に対応するためには、行動計画を総合的に推進するため、少子化対策推進部署間の密接な連携が重要である。
今後、少子化対策を一層推進していくために、推進部署による調整会議を設け、施策が効果的に実行できるよう努めたい。



平成 19 年 4 月より有料化される予定の粗大ゴミ収集

久保議員 少子化対策を考える時、子育て・医療支援だけでなく、教育の充実、宅地開発、工場誘致などの施策に前向きに取り組む、多賀町をより住みよい魅力のあるまちにする必要がある。これら施策を実現するには、課単位だけでなく各課横断的な組織での取り組みが必要になってくると思うが、町長の考えは。

粗大ゴミの収集のための体制づくりは準備にとりかかっている

久保議員 有料化による粗大ゴミの個別収集が一九年四月より実施予定。実施に向け、収集のための体制づくりはできているか。

環境生活課長 一〇月より各字にて開催予定の説明会や広報などにより住民への周知をしたい。

収集体制については、収集車両の型式や大きさの仕組みづくりの準備にかかっている。

介護保険料、利用料の負担軽減措置を町独自の助成制度は考えていない

—福祉保健課長—

山口 久男 議員



山口議員 介護保険料の低所得高齢者の保険料負担軽減措置を考えるべきだ。昨年一〇月から施設利用の食費、住居費が自己負担となったが町独自の助成の考えは。

地域包括支援センターの業務内容と体制は。

福祉保健課長 介護保険料の負担軽減については、保険料段階が五段階から六段階へと見直され、食費、住居費についても所得の低い方には負担軽減措置が行われており、町独自の助成制度は考えていない。

地域包括支援センターの業務内容は、総合的な介護や福祉に関する相談と虐待の防止等である。体制は、保健師と主任ケアマネージャーで対応。



町道久徳、中川原線道路拡幅工事の早期着工を町単独事業では困難

—建設課長—

野村 吉晴 議員

建設課長 平成九年度に起債事業で地方特定道路整備事業として採択を受け、関係集落の久徳、月之木、中

野村議員 芹川堤防南側の国道三〇六号線中央公民館前交差点から新中川原橋間現町道は、国道からの進入は対向車があると通行できず、四手川の橋と町道も直角に近く四トン車以上の車は通行できない。工業団地ができてからは、国道三〇六号が渋滞するため、朝夕の車の通行量も多い。現在地方特定道路整備事業として、町道小森池線を建設中で財政的に厳しい時期ではあるが工事着工時期はいつか。



早期着工が望まれる町道久徳、中川原線拡幅工事

川原の役員さんに事業説明会を開催したが、同時に圃場整備事業、広域農道、芹谷ダム水没地の移転候補地問題等で、理解と協力が得られず県に要望の取り下げをした。

一般車両および高校生から、改良事業の必要性については強く認識しており、補助事業等で早期に事業が実施できるよう模索している。

町政のここがききたい

一般質問

多賀町の「担い手」農業者の現状は認定農業者は一〇人

—農林商工課長—

野村議員 全ての農業者を対象とした一律農政が、平成十九年産からは担い手の経営に着目した所得政策に戦後最大の農政改革がされる。

農林商工課長 担い手は三月末現在で、滋賀県では一、四五六人、多賀町では一〇人、特定農業団体と法人は、九七団体で多賀町ではなし。経営面積は一〇人の認定農業者で五六ha、全体が四百haで一四％となっている。今後は、特定農業団体の設立や法人化に向けて既に複数集落で準備をすすめている。勉強会なども計画されている。県やJAとともに伺って啓発を要請されており、他の集落についても促していく。

小麦の価格一般農家は六〇kg当たり約一、九〇〇円、担い手は国の支援により八、三〇〇円となる。米価の担い手は、過去三カ年の平均収入の差額の九割が補てんされる。再度担い手の必要性の呼び掛けと多賀町の現状と今後の計画は。

補助金制度の見直しを 特定財源の確保に 鋭意努力する

—総務課長—

総務課長 補助金などの特定財源の確保について十分に研究をし、財源確保に鋭意努力する。

多賀小と大滝小間で 格差が広がっているのでは 基礎学力テスト等では格差はない

—教育長—

多林 徳三 議員



大滝小学校での授業風景

山口議員 福祉バスを町と各字の送迎ができるよう運行管理規程を改めるべきだ。保護者の負担軽減のため幼稚園、保育園の通園バス運行を検討すべきだ。湖国バス乗車率を高めるために高齢者の利用料金の見直しを。芹谷方面のバス路線が廃止され住民生活に支障をきたしているが。

公共交通機関対策は 有効な手段を模索中

—町長—

町長 福祉バスについては、冬季を除いては毎日のように運行している。バスの運行上、起点と終点は役場としているが、申請された団体が指定された場所へ送迎している。通園バスについては、保護者の就労により送迎時間は勤務状態に合わせて延長保育等行っている。一律に利用ができないのが通園バスの運行が適切とは考えていない。湖国バスの利用料金については、多賀大社前駅から大君ヶ畑間正規算定すると六〇〇円となるが、現料金では三〇〇円で損失分は町が負担している。芹谷地区の交通対策は、高齢者の交通手段がタクシーに限られることから、福祉タクシー補助金として七十歳以上の方を対象に支給している。



スクールバスで通う大滝小の子どもたち

企画調整会議の現状は 担当課が招集し 方向性、具体策をまとめている

—企画課長—

土田 雅孝 議員

土田議員 財政が厳しくなってくると、いかに効率的に各課事業の展開をするかが重要となる。各課間の横の連携が大切となり、縦横の調整役をする調整会議が必要不可欠となる。今後のまちづくりの成否は、企画立案にかかっている。多賀町に関係する企業団体との調整がより重要となると思われるが取り組みは。

企画課長 企画調整会議は、各課の課長補佐等で組織し、町行政運営の基本方針および相互間の連絡を図り、調整の統一性の確保と円滑かつ効率的な町行政の推進を図っている。外部関係諸団体等の横の連携が必要な事業については、担当課からの提案により企画調整会議を開催し対応・協議する。

多林議員 教員の配置に問題があり、多賀小と大滝小の間に学力差が生じていると複数の保護者から聞いているが現状はどうか。小学校統合の目的は、子どもに学力を付けるだけなら少人数学級もそれなりの良さはあるが、社会性・人格形成上望ましい教育を行うには、一学年二〇人以上は確保したい

教育長 学力標準テストならば中学校入学時における基礎学力テスト等を見たときに、格差は生じていないということであった。現在、大滝小は全校で一〇六人である。今後とも子どもの数が減少するのは避けられないと予測されるが、今後どう対処するのか。

現在、大滝小は一年生が一四名、二・三年生が二二名、四・五年生が一八名、六年生が一二名で今しばらくは、かろうじて一〇〇名を超える見通しである。教育とは個人の個別的な指導によって学力を伸ばす点と、集団の力、いわゆる群れになってみんなが元気になっていくという力が一面では必要である。それを欠いていることは事実であり将来の見通しの検討をする。

議会を傍聴して下さい

第3回定例会は
9月8日開会の予定です。

訂正
第一〇九号二頁目
(誤) 下水道事業会計
二億三、五〇八万円
(正) 水道事業会計